

8) 工法選択

当現場では、下記の工法を選定し、監理者と協議のうえ承諾を得たのちに施工する。

a. 壁面

(1) 改良圧着張り工法

張付けモルタルを下地面に塗り、タイル裏面全体にも張付けモルタルを塗り付けて、壁面に押し付けて張る。この



躯体

張付けモルタル

モルタル

(木ゴテ押え)

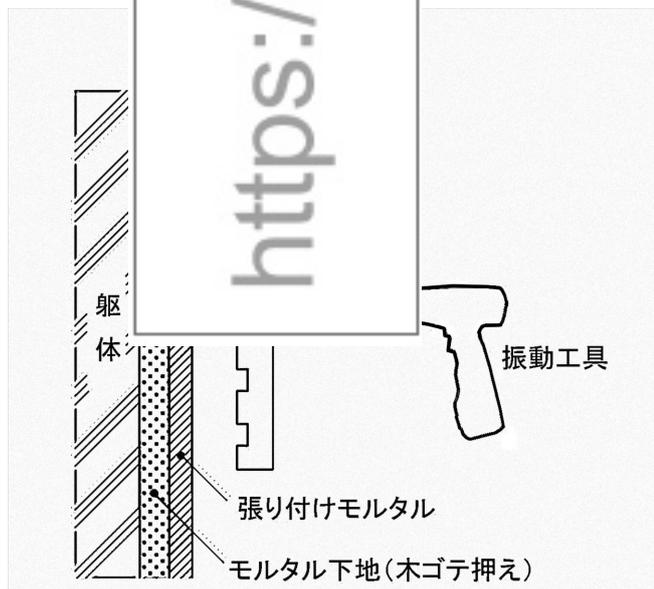
(2) 密着張り工法 (ヴィブラ)

- ・張付けモルタルを下地面に塗り、振動を与え、張付けモルタルを壁面に押し付けて張る。
- ・目地部に盛り上がった目地を同時に仕上げることもできる。目地深さがタイル厚の1/2程度になるようにする。

張付け、振動工具 (ヴィブラート) を用いて壁面に押し付けて張る。

目地を同時に仕上げることもできる。

必ず目地の付送りか後目地で 1/2 までな



躯体

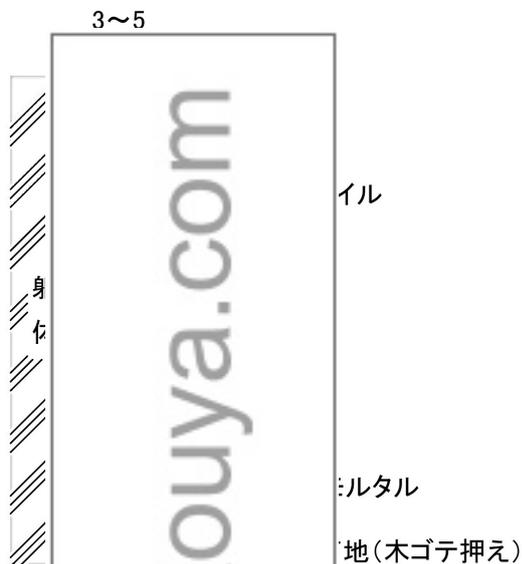
振動工具

張り付けモルタル

モルタル下地 (木ゴテ押え)

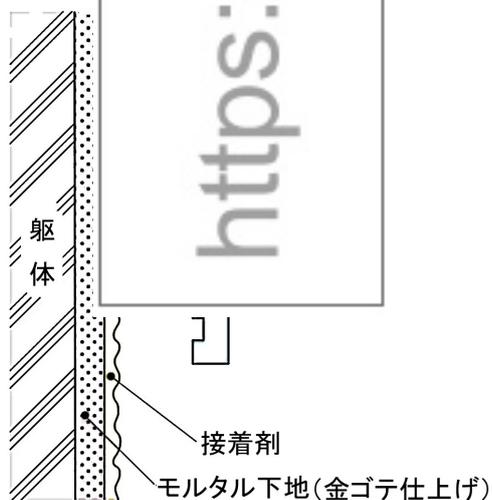
(3) モザイクタイル張り工法

- ・張付けモルタルを下地面に塗り、モザイクタイルを1シートずつ張り付け、ユニットをたたき板などでたたき押し付けて張る。
- ・下地モルタルが硬化した後に表面に水しめしをして紙をはがす。
接着剤張り専用商品と表示されているモザイクはこの工法で施工しない。



(4) 接着剤張り工法

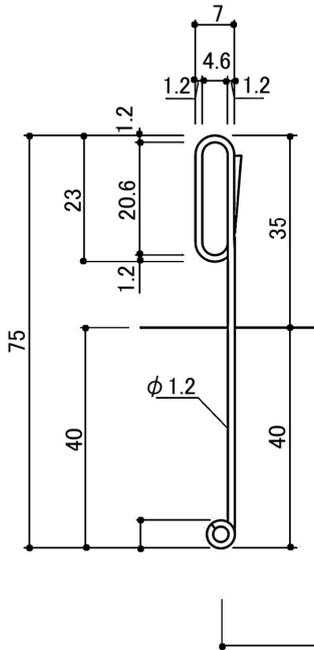
- ・下地面に接着剤をクシ目状に塗布し、タイルを埋め込む様に張り付ける。凹凸が大きい場合は、クシ目を調整、接着面積を確保する。弾性接着剤の点付けによる施工は避ける。セメント目地不要工法(金ゴテ仕上げ)の場合は、接着剤をクシ目で接着層にする。



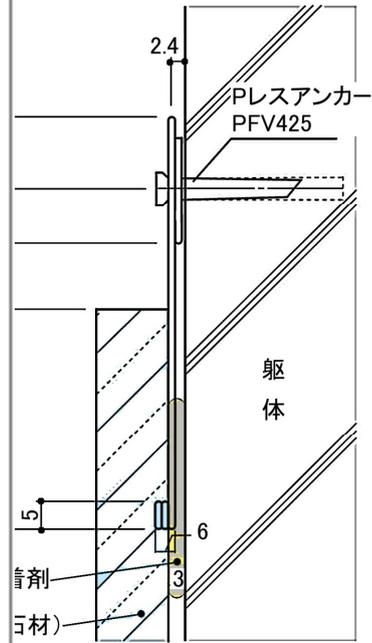
(5) マスク張り

モザイクユニットタイルの裏面に所定のマスクをかぶせてモルタルを塗りつけ、タイルを1シートずつ張付け、たたき板を用いてたたき締める。ばらつきの小さい良好な接着力が得られる。

(6) カベマスクを使用した工法

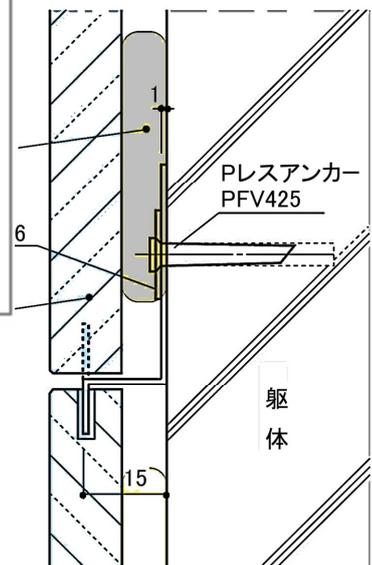
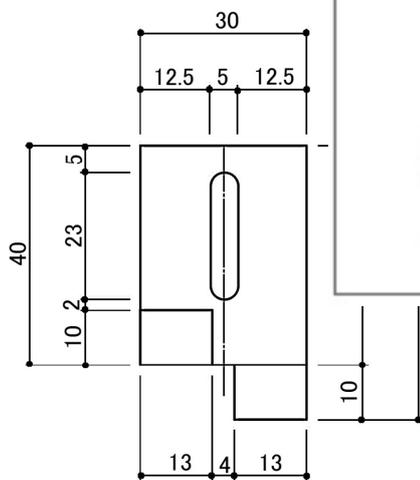


タイルに下穴を4.8mm開ける。タイルを躯体に接着



てボンドを充填してカベマスクを取付ける。

(7) 薄型用アングルを使用し



タイル天端側小口と下端側小口に切込みを入れて、薄板用アングルをはめ込みボンド充填。タイルを躯体に接着剤の点付けで張り付ける。

カベマスク、薄板用アングルは落下防止の補助としての役割である。接着剤でタイルをしっかり接着することが前提の工法である。外壁、内壁それぞれに適したボンドを使用する。

b. 床面

(1) 一般床タイル張り工法

コンクリート面に敷込みタイルを張り、敷込みモルタルが未硬化するまでゴムハンマー等でたたき押し付け、タイルの隅にモルタルが十分に入り込むようにする。

木ごとなどで締め固めて平坦な下地を作
ーストを掛け、その上にタイルを置きゴ
ムハンマー等でたたき押し付け、タイルの隅にモルタルが十分に入り込むようにする。比較的広い面積で 300 角未満の床タイルの施工

セメ

2~5
30~50

床タイル

敷込みモルタル
(バサモルタル)

(2) 床タイル圧着張り工法

木ごとで押しつけたモルタルを
ゴムハンマー等でたたき押し、タイ
ルを十分に押し付ける。比較的広い面積
で 300 角未満の床タイルの施工

モルタルを塗り、ただちにタイルをゴムハン
マー等でたたき押し、タイルを十分に押し付ける。比較的広い面積

5~7
30~50

床モルタル

敷き込みモルタル
(硬練りバサモルタル)

コンクリート

<https://www.sekouya.com>

(3) 大型床タイル張り工法

コンクリート面の上に敷込みモルタルを均一に敷きならし、その上にタイルを仮置きしてゴムハンマー等でたたいてレベル調整を行った後にタイルを一旦、取り除いて、敷込みモルタルの上にセメントペーストを塗布して直ちにタイルをゴムハンマー等でたたき押えて張り付ける。セメントペーストは1枚ごとに塗布する。



(4) 接着剤張り工法

下地合板の上に接着剤を塗布し、タイルを張り付ける。

内部床で水がかりの無い床では、接着剤が12mmの1枚張りを使用する。

タイルを張り付ける。

である。

より広い場合は、目地に内装用弾性目地

